

2021.5.1

No. 209

3月

定例会



市議会だより



写真：リニューアルした環境啓発看板(甲府市リサイクルプラザ)

CONTENTS

- 新型コロナウイルス感染症(第3波)の影響への緊急支援策を提言! …… ②ページ
- 議会基本条例制定を目指しています!Vol.2 …… ③ページ
- 3月定例会の概要/市長所信表明要旨 …… ④ページ
- 市政に関する質問 …… ⑤~⑩ページ
- 常任委員会審査の概要/意見書の要旨 …… ⑪ページ
- 予算特別委員会審査の概要 …… ⑫~⑬ページ
- 審議結果/人事案件/請願審査結果 …… ⑭~⑮ページ
- 議会日誌/6月定例会の予定 …… ⑯ページ

市長に、新型コロナウイルス感染症(第3波)の影響への緊急支援策を提言!

新型コロナウイルス感染症の第3波により、更に本市経済や市民生活へ大きな影響を及ぼすとともに、感染拡大の長期化による市民の不安感が一層増す中、市民のみなさまの切実な声をもとに緊急支援策を取りまとめました。



経済対策の提言



「オフィスdeランチ」の様子(甲府市役所ウッドデッキ)

① 「がんばろう甲府! 最大 30%戻ってくるキャンペーン」の第3弾の実施などを検討すること。併せて、より多くの市民が制度を利用できるよう、利用方法の周知や相談体制を構築するなど、他の可能性も含めた支援策についても検討すること。

(その他の主な要望に対する支援策)

- ・補助率等を拡充した「テイクアウト支援事業」の再実施
- ・観光バス事業などの観光事業者や飲食店への卸売業者等、売上が著しく減少した事業者への支援策の実施

甲府市の主な支援策

- ・ **がんばろう甲府! グリーン・ゾーン応援金**
衛生対策の継続による事業の継続を支援するため、山梨県の「やまなしグリーン・ゾーン認証」取得施設に応援金を支給
- ・ **甲府市地方卸売市場事業者応援給付金**
安定的な食の供給を図るため、地方卸売市場の卸・仲卸業者に応援給付金を支給
- ・ **がんばろう甲府! デリバリー応援金**
市内飲食店における飲食宅配サービス導入に係る経費を補助

生活支援策の提言



ワクチン接種シミュレーションの様子

① 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷している市内の雇用状況に対し、失業者への再就職の相談体制を強化・拡充するとともに、市内事業者へ積極的に情報発信すること。

② 本年2月から予定されているワクチン接種に係る専属部署を設置する中で、市民への適時・的確な情報提供と迅速な接種体制の確立に努めること。

(その他の主な要望に対する支援策)

- ・成人式の見送りに伴う代替イベントの実施
- ・家庭の経済難により学習の機会が減っている子どもたちへの学習支援の実施

甲府市の主な支援策

- ・ **新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種**
ワクチン接種に向けた体制の整備や相談体制の充実を図り、円滑かつ着実なワクチン接種を実施
- ・ **小中学校等における感染症対策等の実施**
学習環境の向上を図るため、小中学校等における感染症対策の強化やオンライン学習等に係る教職員のスキルアップ研修等を実施
- ・ **ワークプラザ甲府(市役所本庁舎2階)の相談対象者を拡大**
就労や雇用の確保が難しいことから、4月から就職氷河期世代の一般求職者を相談対象者に追加

甲府市議会は、

議会基本条例 制定を目指しています!



制定の目的と提案までの流れについては、第 208 号を参照

条例案の検討 (ワークショップ)



令和2年9月～

議会基本条例特別委員会を設置し、外部講師による専門的知見などを活用しながら、「議会の役割や機能充実」等について理解を深めるとともに、互いに討議し合いながら条例の骨格や総論の核となる部分について繰り返しワークショップを行い、議会基本条例（骨子案）を作り上げていきました。

全員協議会

令和3年2月

全議員で共有化を図るため、議会基本条例（骨子案）をもとに、説明及び意見聴取を行いました。

賛成意見、反対意見、改善点など、活発な議論が行われました。



条例案の磨き上げ



令和3年4月～

全議員から聴取した意見をもとに特別委員会で討議し、条例案の作成を行いました。

全議員で再度共有化を図るとともに、今後市民の皆様からいただいたご意見を踏まえ、制定を目指してまいります。

市民の皆様からのご意見を募集しています!

議会基本条例(案)へのご意見をお寄せください

期間：令和3年5月7日（金）から
令和3年6月6日（日）まで



ぜひ一度
アクセスして
みてください!

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/gijichosa/publiccomment.html>

3月定例会の概要

甲府市議会は、3月定例会を2月26日から3月23日までの26日間の日程で行いました。

令和3年度甲府市一般会計予算、甲府市附属機関設置条例制定についてなど、各常任委員会の審査(11ページ)及び予算特別委員会の審査(12・13ページ)を経て、市長から提案された44案件を審議し、すべて原案のとおり承認・可決・

同意、諮問のとおり決定いたしました。

なお、主な補正予算は、令和2年度甲府市一般会計補正予算(第16号)で、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種を円滑かつ着実に実施するための費用や、市内飲食店における飲食宅配サービス導入に係る経費の補助等の補正となっています。

樋口雄一市長 所信表明要旨



令和3年度の市政執行にあたりましては、「第六次甲府市総合計画」における基本目標に

基づき、今般の感染症拡大に伴う市民意識・行動の変化などの新たな動きを的確に捉え、市民の一人一人が、生活の豊かさを実感できる地域社会の実現に努めてまいります。

○いきいきと輝く人を育むまちをつくる

地域全体で子育てを応援する拠点づくりや様々な主体が互いに連携・協働するネットワークづくりに取り組むとともに、ICTを効果的に活用した学習や学校施設の整備により学習環境を充実させ、確かな学力や自立性を身に付け、健やかに育つ環境づくりを進めてまいります。

また、日本女性会議2021 in 甲府の開催により、男女共同参画意識の醸成を図るとともに、国際感覚豊かな人材の育成や身体を動かす機会と場の創出に取り組むなど、心豊かで輝く人を育むまちづくりを推進してまいります。

○魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる

新しい生活様式を踏まえ、新たな環境づくりに向けた地域産業の持続的な

発展と地域経済の活性化を図るため、販路開拓の支援や企業立地の促進に取り組むとともに、若者や女性、外国人の就業機会の確保に努め、魅力と活力が溢れるまちづくりを進めてまいります。

また、本市の歴史、伝統、文化、地場産品等を活用した観光振興と地域経済活性化への取組に加え、甲府城周辺において歴史・文化が感じられる空間づくりを進めるとともに、引き続き移住・定住の促進を図り、交流と賑わいのあるまちづくりを推進してまいります。

○安全で安心して健やかに暮らせるまちをつくる

激甚化する災害に備え、住民一人一人の防災行動の支援など、地域防災力の向上に取り組むとともに、防犯・交通環境の改善や消費者被害の未然防止など、市民の安全安心な暮らしを守るまちづくりを進めてまいります。

また、「元氣Cityこうふ」の実現に向けて、甲府市健康支援センターの拠点機能を活かした健康づくりの取組を進めるとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大への適切な対策を講じるなど、すべての人が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる社会を目指してまいります。

○自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる

世代に応じた環境教育の推進や、グリーンエネルギーの普及促進、ごみの

減量などに取り組み、SDGsの実現につなげるとともに、遊亀公園・附属動物園の一体的な整備を進めるなど、潤いのある快適な環境づくりに努めてまいります。

また、リニア中央新幹線の開業を見据え、甲府市リニア活用基本構想に位置付けた施策を展開するとともに、集約と連携による持続性の高い都市構造の実現に向け、都市基盤の整備や計画的な土地利用などを推進してまいります。

○基本構想の推進

甲府市協働支援センターを中心に、多様な主体による地域づくりの支援などを展開し、協働によるまちづくりを進めてまいります。

また、地方行政の諸課題の克服や圏域の発展に向けて、連携中枢都市圏形成を視野に入れた近隣自治体との連携を進めるとともに、デジタルトランスフォーメーションの推進による市民サービスの向上や選択と集中による行政改革を更に推進し、持続可能な行政運営に取り組んでまいります。

加えて、様々なツールを活用し、本市の特色や魅力を発信する戦略的なシンタイプロモーションを展開するほか、職員の挑戦意欲を喚起する人材の育成や多様な任用・勤務形態を活用した執行体制の最適化を進めるなど、行政サービスの効果的な提供体制を確保してまいります。

市 政 に 関 す る 質 問

※一問一答…一問ごとに質疑応答を行う。 分割…質問項目ごとに質疑応答を行う。 一括…質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。



創政こうふ
代表質問 (分割)
興石 修

新型コロナウイルス予防接種について

質問 Q 早期に新型コロナウイルス感染症を収束させるため、ワクチン接種に対する市民の不安をどのように取り除き、接種を促していくのか伺います。

答弁 A 本市では、コールセンターや保健所における親切丁寧な相談対応に努めるとともに、薬剤の豊富な知識を有するシミックホールディングス株式会社と連携し、様々な媒体を通じて、ワクチンの安全性等に対して科学的知見に基づいた正確で分かりやすい情報提供に取り組んでまいります。更に、接種会場の円滑な運営と副反応への迅速な対応が図られるよう、実際の接種を想定したシミュレーションを行うとともに、ワクチン接種が開始された後も、接種場所や接種人数等のほか、市民の皆様の安心につながるタイムリーな情報発信を行うなど、接種へ向けた気運を高めてまいります。

教員の働き方改革に係る取組について

質問 Q 教員の多忙化改善に向けた「給食費の公会計化」の検討状況や、働き方改革の今後の展望について伺います。

答弁 A 本市では、勤務時間終了後の電話対応の負担を軽減するため、留守番電話を全小中学校に導入することとしたところであります。更に、各学校において大きな負担となっている学校給食費の未納金の徴収に係る業務等を本市が担うべき業務として推進することを決断したところであり、令和3年度はシステムの構築等に取り組み、令和4年4月から学校給食費の公会計化を開始します。

加えて、全国でも先進的な取組として、修学旅行費や教材費などの様々な学校納付金の徴収についても、令和5年度から段階的に本市が担うことにより、更なる教員の負担軽減を図ってまいります。

■その他の質問事項

・リニア駅北口・南口計画について 他



公明党
代表質問 (分割)
植田 年美

SDGsの推進とゼロカーボンシティ宣言後の取組について

質問 Q SDGsの目標達成に向けた令和3年度の施策展開と、ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた市民や事業者の参画を促す取組について伺います。

答弁 A SDGsの推進については、「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向け、感染対策や経済対策、「新たな日常」に対応するための施策・事業を推進し、GIGAスクール構想の推進に加え、令和3年度は日本女性会議2021 in 甲府などをはじめとする様々な施策を通じて、SDGsの目指す17のゴールの実現につなげ目標達成に寄与してまいります。

ゼロカーボンシティ宣言後については、温室効果ガス排出実質ゼロに向け、環境教育の実施やスマートムーブの促進、また、微生物を利用して生ごみを消滅させる

市民の生命と財産を守る施策について

質問 Q 特殊詐欺防止機能付き電話機購入補助について、見解を伺います。

答弁 A 悪質・巧妙化する電話詐欺から市民の財産を守るため、防災行政用無線や甲府市防災防犯メールマガジン等を活用し、注意喚起を行うとともに、還付金詐欺の被害場所となるスーパー等の駐車場に設置されたATMコーナーで被害防止を呼び掛けるなど、被害の防止に努めています。

今後、市民の尊い財産を守るため、電話詐欺防止機能付き電話機購入補助制度をはじめ、他都市の様々な取組を調査・研究してまいります。

■その他の質問事項

・子ども屋内運動遊び場について 他



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



こうふ未来
代表質問 (分割)
藤原伸一郎

**甲府市の地理的・地域的な
関係性を踏まえたまちづく
りについて**

質問Q 人口減少やコロナ禍と
いった厳しい状況が続くこ
とが想定される中、今後、甲府市
の地理的・地域的な関係性を踏ま
えたまちづくりの考え方を伺いま
す。

弁答A 今後のまちづくりにおい
ては、エリアマネジメント
の視点により、「つくる」から
「育てる」へのシフトが求められる
中、地域特性に応じた魅力づくり
によっていかに地域の価値の維
持・向上につなげていくかという
点が重要であり、加えて、その認
識を様々な主体が共有して、具体
的な取組を進めていくことが必要
となることから、民間が主体と
なって取り組むエリアマネジメン
ト活動の促進を図るとともに、公
民相互に弱みを補完し、強みを活
かす公民連携による取組、更には、
市民との協働によるまちづくりの

推進等に努めてまいります。

**地域コミュニティの活性化
に向けた自治会との関係に
ついて**

質問Q 新型コロナウイルス感染症
症が蔓延したことを受け、
日常生活が一変し、更に、自然災
害も頻発する中、今こそ「共助」
が求められる時代であると考えま
すが、地域づくりの根幹をなす自
治会とは今後どのような関係であ
るべきか、見解を伺います。

弁答A 自治会は、住みよいまち
のな役割を担い、協働推進の重要
なパートナーと認識しており、地
域の枠を超え活動している諸団体
と多様化する地域課題の解決に向
け取り組めるよう支援を進め、新
しい協働のかたちの形成を目指し
てまいります。

引き続き、自治会の皆様と手を
携えながら市民の
元気と笑顔があふ
れる明るい未来に
向かって歩みを進
めてまいります。



その他の質問事項

- 小売業、飲食店の現状と再浮上
への政策について 他



日本共産党
代表質問 (分割)
木内 直子

**介護施設・高齢者施設での
検査充実について**

質問Q 介護施設及び高齢者施設
での新型コロナウイルス感
染症に関する検査の充実を求めま
すが、見解を伺います。

弁答A 発熱等の症状のある入所
者等については、速やかに
PCR検査等につなげ感染者の早
期発見に努め、陽性が判明した場
合には、接触がある方全員に検査
を行うとともに、新規入所者に対
象とした検査費用の助成事業を昨
年12月から実施しているところ
です。

今後も、甲府市医師会等との連
携のもと、検査が必要な方に対し
て迅速かつ円滑に検査が実施でき
るよう取り組むとともに、感染状
況を見定めながら、国の要請を踏
まえた対応にも努めてまいります。

介護保険料について

質問Q 消費税増税など負担が増
す中、高齢者の生活は経済

的に厳しい状況となっていること
から、介護保険料の引き下げを求
めますが、見解を伺います。
弁答A コロナ禍における高齢者
の経済的な負担増を抑える
ため、市民への負担感の軽減と介
護保険制度の持続可能性の両面か
ら検討した結果、保険料額を据置
と判断し、本定例会へ改正条例案
を提出したところです。

制服選択制について

質問Q 「トランスジェンダー」
の生徒への配慮や、防寒面
等から導入する高校も増えている
中、甲府商業高校及び公立中学校
において、生徒が性別に関わらず
制服を選択できるようにすること
を求めますが、見解を伺います。

弁答A 本市では、学校に対し、
生徒や保護者と学校が話し合いを
重ね、医療機関の助言も参考にす
る中で自認する性の制服の着用や
髪型を認め、トイレや更衣室等に
ついて配慮しており、現在、甲
府商業高校では、冬季における女
子生徒の防寒対策も含め、スラッ
クスの着用について検討を始めた
ところです。



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。

市政に関する質問



こうふクラブ
代表質問 (分割)
山田 厚

国連の核兵器禁止条約の批准に対する甲府市長の見解について

質問 Q 国連の核兵器禁止条約が発効しました。甲府市では「核兵器廃絶平和都市宣言」をしており、甲府市議会も満場一致の核兵器廃絶の決議を行っています。市長も早期に批准を政府に求めるべきと考えますが、見解を伺います。

回答 A 本市では、永遠の世界平和を希求していくため、平和推進活動への支援等を行い、平和意識の醸成と次世代への継承に努めているところであり、核兵器禁止条約への批准は、国政の場において慎重かつ丁寧な議論され、国民の理解を広く得る中で決定されることが望ましいと考えています。引き続き、平和都市宣言事業に関わる各種取組を着実に進める中で、多くの方々に戦争や核兵器の悲惨さを伝えるとともに、命の大切さや平和の尊さについて、継承してまいりたいと考えています。

市職員の公務災害補償の請求への助力義務等について

質問 Q 甲府市役所では現職死亡にもなり、そのうち2名の方々は自殺で、業務の過重性に原因があります。速やかに公務災害補償をすべきであり、請求への助力義務と今後の労働安全衛生の改善課題について伺います。

回答 A 被災状況等を把握し、適切に補償手続きが行えるよう支援、助言するとともに、認定請求書が提出された場合には、任命権者の意見等を付し、地方公務員災害補償基金に提出しています。今後、職員の公務上または通勤上の災害補償に関わる必要な支援や助言を行ってまいります。

また、勤務環境の改善に向け、超過勤務が多い職場のヒアリングを実施し、業務量や職場の状況等の把握に努め、業務改善の支援等を行っており、今後、職員のパソコンの使用時間を制限できるシステムを導入します。

■その他の質問事項

● 甲府市の職員の勤務環境の改善について



政友クラブ
代表質問 (分割)
荻原 隆宏

新型コロナウイルスワクチン接種の課題と対応について

質問 Q 安全性や有効性、副反応があるワクチン接種ですが、安心して接種を受けられる体制作りや接種会場への交通手段等の課題にどう取り組んでいくか伺います。

回答 A 確実に接種管理ができるシステムや体制を構築し、集団接種として市内の6カ所の公民館などで実施するほか、個別接種の実施に対しても身近なかかりつけ医などで安心して接種ができるよう、取り組んでいます。また、寝たきりの高齢者宅を訪問しての接種や、交通事業者と連携した交通弱者への対応などについても準備しています。

コロナ禍における母子支援について

質問 Q コロナ禍での子育ては心理的負担が大きく、精神面に不安のある母親からの電話相談

件数は前年比で2倍近くに上ります。そこで産前産後ケアセンターの活用を含めた、コロナ禍での母子支援について伺います。

回答 A 令和3年度は、1歳6か月児及び3歳児の法定健診に加え、2歳児歯科健診を再開するとともに、家庭訪問や各種相談及び教室を開催し、対面相談の機会を充実していきます。また、支援が必要と判断される方には、市独自の補助制度の日帰り型を含め、産前産後ケアセンターの積極的な利用を勧め、産後うつへの予防に努めてまいります。

コロナ禍における自殺対策について

質問 Q 昨年6月頃から全国的に自殺者数が増加し、本市においても女性の自殺者が大幅に増えています。「甲府市自殺対策推進計画」の見直しも含めてどのように対応していくか伺います。

回答 A 年比較で本市の女性自殺者数は5人から10人(暫定値)と増加し、重く受け止めています。各種相談窓口の周知とともに、一人でも多くのゲートキーパーを養成してまいります。



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



創政こうふ
一般質問 (分割)
小沢 宏至

コロナ禍における自治会活動への支援について

質問Q コロナ禍における自治会活動への支援と、今後の取組について伺います。

答弁A 新型コロナウイルスの感染者数は増加の一途を辿り、私たちの日常生活が一変し、様々なイベント等も中止・延期となる中、本市では、自治会活動を行う際の対策として、悠遊館等の利用時のガイドライン作成など、支援を行ってまいりました。

更に、自治会活動が制限されることで、住民間のコミュニケーションが減少し、地域のつながりの希薄化が懸念されることから、安全・安心に活動を実施していただくため、全地区自治会連合会に必要な物品や備品の購入支援を行ったところであります。

今後、感染症に関する情報発信や、悠遊館の機能強化等に対する補助を行うなど、自治会活動への支援に努めてまいります。

デジタル支援員の育成について

質問Q 高齢者等がICTを活用して豊かな生活が送れるよう、地域に支援員となる人材が必要と考えますが、見解を伺います。

答弁A 本市では、今年度「甲府市デジタルソサエティ未来ビジョン」を策定し、デジタル化による格差が生じないよう、誰にもやさしいデジタル社会の形成を目指し取り組んでいくこととしております。そのビジョンを具現化するためのアクションプランにおいては、デジタル技術になじめない方々に対するデジタル活用支援体制の構築を進めるとしていることから、市民団士の協働体制の構築や、関係団体等との連携など、デジタル活用の支援が可能な人材の育成について検討してまいります。

今後、市民の皆様がデジタルサービスを容易に利用できる仕組みづくりを進めるとともに、デジタルリテラシーの向上に努めてまいります。

その他の質問事項

● コロナ禍における今後の対応について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)
望月 大輔

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策について

質問Q 本市では、市民の不安感払拭のためにどのような経済対策及び生活支援策を進めてこられたのか、議会からの提言への対応も踏まえ、お示しください。

答弁A 見えない新型コロナウイルスの猛威に対し、「感染拡大の防止と対策機能の強化」、「市民生活への影響の抑制」及び「経済活動の不安の縮小化」を柱に据え、感染状況や経済情勢等を常に見極めつつ、それぞれの状況を踏まえ、各局面に応じた102項目の支援策を講じてまいりました。

今後の終息への大きな鍵となる「ワクチン接種」という希望の光が差してきたものの、未だ先行きが見通せない情勢の中、国の「15か月予算」の考え方を踏まえた一体的な予算編成のもと、最適な形での対策を講じていく必要があり、今後、議会の提言を踏まえ、事業者を応援する新たな支援策を講

じるとともに、市民が安心して日常を過ごしていただけるよう、感染対策の継続はもとより、社会情勢に応じた効果的な事業形成に取り組んでまいります。

甲府市国土強靱化地域計画について

質問Q 本計画が、数多くある個別計画や防災計画等の中で、どのような役割を担っていくのか、お示しください。

答弁A 本市における強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画であり、甲府市地域防災計画をはじめとする、強靱化に関する様々な分野の計画の指針としています。

今後は、より実効性の高い計画とするため、推進方針に基づき、取り組むべき事業を整理する中で「(仮称)甲府市国土強靱化地域計画アクションプラン」を策定し、PDCAサイクルにより進捗管理を行い、必要に応じ改善を重ねてまいります。

その他の質問事項

● ジャパンジュエリーフェア甲府開催への関わりについて 他



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。

市政に関する質問



公明党
一般質問 (分割)
中村 明彦

デジタル技術になじめない高齢者への講習会等の実施について

質問 Q 高齢者がデジタル社会に対応できるように、スマートフォン教室等を開催してはいかがでしょうかと考えますが、ご所見を伺います。

回答 A 現代社会では、スマートフォン等から様々な情報が入手でき、生活の質を高めることが期待できる反面、デジタル技術になじめない高齢者の方などは、ネットワーク犯罪に巻き込まれてしまうリスクもあります。

この度、策定した「甲府市デジタルソサエティ未来ビジョン」を具現化するためのアクションプランにおいて、デジタル機器の操作が不得意な高齢者の方などを支援するとしており、高齢者の皆様が安心してスマートフォン等を使い、充実した生活を送るために利用いただけるよう、講習会等の開催について検討してまいります。

「読書通帳」の導入について

質問 Q 読書に親しんでもらう取組として、読書通帳を導入する自治体が増えていますが、読書通帳についての調査・研究結果と導入の見通しについて伺います。

回答 A 甲府市立図書館では、読書履歴や感想が記入できる子ども向けの読書記録ノートを配布するとともに、ホームページのマイ本棚機能を利用して、借りた本の履歴を見ることができま

す。また学校では、地域ボランティア等による読み聞かせや、おすめの本を福袋にするなど、各校の様々な特色ある取組により子どもの読書活動を推進しています。

読書通帳については、他都市への調査では、読書への意欲を高めるのに有効ではあるものの課題もあることから、それらの状況を注視する中で、引き続き子どもの読書推進に有効な手段について、調査・研究を行ってまいります。

その他の質問事項

・市立小中学校におけるスポットクーラーの設置等について 他



こうふ未来
一般質問 (分割)
川崎 靖

日本遺産「御岳昇仙峡」を構成する能三番について

質問 Q 平安時代末期に都落ちした藤原氏が伝えたと言われる黒平の能三番の文化財保存と観光の両面の観点からの今後の取組について見解を伺います。

回答 A 黒平の能三番は、村の青楽(かぐら)を奉納した後、前年に結婚、新築、出産など慶事があつた家に赴き、その座敷を舞台に舞う神事であり、本市の貴重な無形民俗文化財であるとともに、昇仙峡を核とする日本遺産の構成文化財のひとつでもあることから、

本年2月に実施した昇仙峡観光ガイド養成講座において民俗芸能の専門家から、映像を使いながら解説を行っていただいたところで、今後も、披露の場の創出に努めるとともに、市民を対象とした関連講座の開催やホームページへの掲載などにより、文化財としての価値や魅力を発信してまいります。

その他の質問事項

・塩澤寺地藏堂がある湯村温泉郷について 他



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



政友クラブ
一般質問 (分割)
原田 洋二

ハンドサイン運動の推進について

質問 Q 横断歩道におけるハンドサイン運動について、これまでの取組状況と、今後どのように推進していくのか伺います。

回答 A 交通安全教室における子どもや高齢者への重点的な指導、様々な媒体を活用した情報の発信、更に、交通安全運動期間等を通じた普及・啓発を実施しており、日本自動車連盟（JAF）が実施した2020年の調査によると、山梨県における信号機の無い横断歩道での車の一時停止率は全国平均を上回っており、2018年と比べると大きく改善していることから、成果が表れてきていると認識しています。

ハンドサイン運動については、継続的に広く市民へ周知することが重要と考えていることから、今後も警察署など関係機関と連携をより一層密にしながら推進に努めてまいります。

コロナ禍における納税相談について

質問 Q コロナ禍における納税相談の状況と、納税が困難な場合、徴収猶予制度もある中でどのように対応しているのか伺います。

回答 A 所得の減少や営業不振による失業等に伴い、納税が困難になる方が増えていることから、今年度の納税相談は2月末現在で1万4407件となり、昨年と比べて約1.5倍に増加しています。

納税相談に際しては、事業内容や生活状況等を詳細に伺う中で、実情に応じてきめ細かに対応するとともに、各種支援制度も案内しております。

また、収入が急減した方に対する市税の徴収猶予の特例により約400件、1億8千万円余の徴収を猶予するとともに、事業収入が急減した中小企業者へは、令和3年度課税の償却資産税等についても軽減措置を講じてまいります。



その他の質問事項

・子ども輝くまちの創出について
他



政友クラブ
一般質問 (分割)
深沢 健吾

ひきこもり(8050)問題における本市の現状と今後の取組について

質問 Q 本市の現状に対する認識と、今後の具体的な支援内容について見解を伺います。

回答 A 本市では、令和元年度よりひきこもり相談窓口を設置し、様々な相談に対して心理専門職や社会福祉士が丁寧に支援につなげる等の対応を行っています。

本市のひきこもりの現状は、昨年9月に山梨県と共同で行った調査では、総人数103人のうちの約7割を40歳以上が占め、ひきこもり期間10年以上が約5割を占めており、長期化による高齢化が継続状況にあると考えられます。

こうした状況を踏まえ、ひきこもり支援に精通したアドバイザーを配置し、相談体制を強化するとともに、長らくひきこもっていた方への支援として、伴走しながら様々なプログラムを実施するためのNPO法人等と連携した居場所

コロナ禍における小中学校の学校教育について

質問 Q コロナ禍における、教育課程等の実施状況と令和3年度の見通しについて伺います。

回答 A 本市が独自に作成した学校対応マニュアルに基づくマスクの着用等の感染予防と、感染者等に対する差別や偏見をなくすための指導を行うとともに、夏季休業日の短縮による授業時数の確保や、学習指導員等の配置による教員が児童・生徒への指導に専念できる体制をつくるなどの取組により、令和2年度は予定した教育課程を全て終了できる見込みです。

令和3年度は、この1年間のコロナ対応の経験を踏まえ、「本当に必要な教育活動は何か」を再度精査しながら、児童・生徒の健やかな成長が図られるよう、万全の感染対策と学びの保障の両立に取り組んでまいります。

その他の質問事項

・小中学校における特別支援教育について
他



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。

常任委員会審査の概要

予算や条例など付託案件を
審査した経過等の概要です。

常任委員長
報告要旨

総務委員会

委員長：興石 修 副委員長：鮫田光一
委員：小澤 浩 末木咲子 清水 仁
長沢達也 廣瀬集一 山田 厚

(3月8日審査)

◆議案第18号 令和2年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、引き続き山梨県に対して利子の減免等を要望していくよう求める意見がありました。

◆議案第32号 包括外部監査契約の締結について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、包括外部監査がより効率的・効果的な行政運営に資するよう求める意見がありました。

◆議案第15号 専決処分について(令和2年度甲府市一般会計補正予算(第14号))中総務委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第16号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第15号)中総務委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第35号 教育委員会委員の任命について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

◆諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

全員異議なく当局諮問のとおり決定するものと決しました。

(3月23日審査)

◆議案第39号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第16号)中総務委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、コロナ禍におけるウェブ会議システムの利用にあたっては、会議が円滑に進められるよう効率的な運用を検討することを求める意見がありました。

◆議案第42号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第17号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第43号 監査委員の選任について

全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

民生文教委員会

委員長：神山玄太 副委員長：寺田義彦
委員：池谷陸雄 原田洋二 長沼達彦
山中和男 植田年美 木内直子

(3月8日審査)

◆議案第21号 令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第6号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、引き続き公認会計士による監査・指導等を受ける中で、適切な会計処理に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第15号 専決処分について(令和2年度甲府市一般会計補正予算(第14号))中民生文教委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。

◆議案第17号 令和2年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月23日審査)

◆議案第39号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第16号)中民生文教委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、新型コロナウイルスワクチン接種については、市民の不安を軽減するよう、きめ細かな情報発信に努めるとともに、コールセンターでの丁寧な対応を求める意見や、妊婦へのPCR検査実施及び特定不妊治療費助成については、引き続きあらゆる媒体を活用し周知徹底に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第41号 令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第7号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済建設委員会

委員長：天野 一 副委員長：中村明彦
委員：荻原隆宏 岡 政吉 坂本信康
望月大輔 川崎 靖 清水英知

(3月9日審査)

◆議案第30号 指定管理者の指定について

「創作の森おびな」の運営が地域の活性化や交流人口の増加、更には移住・定住策につながるよう取り組むとともに、工夫を凝らした自主事業の実施を促していくよう求める意見がありました。

◆議案第31号 工事請負契約の締結について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、遊亀公園の整備工事については、引き続き地元住民等への丁寧な説明に努める中で、幅広く意見を聴きながら進めていくよう求める意見がありました。

◆議案第37号 債権の放棄について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、公営住宅の公平性の観点から、引き続き可能な限り債権を放棄しないよう取り組んでいくことを求める意見がありました。

◆議案第15号 専決処分について(令和2年度甲府市一般会計補正予算(第14号))中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しましたが、ふるさと納税については、関係団体との連携の下、より返礼品を充実していくよう求める意見がありました。

◆議案第20号 令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第3号) 他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月23日審査)

◆議案第40号 令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第4号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、甲府市地方卸売市場事業者応援給付金については、コロナ禍を乗り越えるための一助となるよう、全ての卸売業者及び仲卸業者に対して確実に給付されるよう求める意見がありました。

◆議案第39号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第16号)中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、「がんばろう甲府！グリーン・ゾーン応援金」や「がんばろう甲府！デリバリー応援金」については、周知徹底を図り制度利用を促すとともに、事業者に寄り添った対応を行うよう求める意見がありました。

環境水道委員会

委員長：小沢宏至 副委員長：深沢健吾
委員：鈴木 篤 金丸三郎 兵道顕司
堀とめほ 藤原伸一郎 山田弘之

(3月9日審査)

◆議案第22号 令和2年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、企業債の借り換えにあたっては、低金利の借り入れに努めるよう求める意見がありました。

◆議案第16号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第15号)中環境水道委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月23日審査)

◆議案第39号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第16号)中環境水道委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、環境センターにおける密を改善するための施設改修が、職員の働きやすい環境整備につながるよう求める意見がありました。

市民の声を反映して

◆ 請願または議員自らの提案に基づき、議会の意思を決定し提出します。

加齢性難聴者に対する適切な支援体制の構築と補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書

日本では、補聴器は管理医療機器であるにもかかわらず、有資格者の販売制度や補聴器技能者の公的資格化が確立されていない。また、補聴器の価格が片耳当たり平均15万円と高額であるが、高度・重度難聴の場合を除き、公的補助制度が整備されていないため、全額自己負担となっている。必要な人に適した補聴器が提供されていない状況是正するためには、難聴者それぞれに対して、耳鼻科医による診断と十分な知識・設備を持った補聴器店での装用と調整が必要となる。

よって、国においては、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるよう、加齢性難聴者に対する医療機関と連携した適切な支援体制の構築と認定補聴器専門店における補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう強く要望する。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣

委員会審査の概要

令和3年度予算案等を審査

◇予算特別委員会

委員長 荻原隆宏
副委員長 小沢宏至
委員 鈴木 篤 岡 政吉
坂本信康 小澤 浩
末木咲子 清水 仁
望月大輔 寺田義彦
中村明彦 長沢達也
神山玄太 藤原伸一郎
木内直子 山田弘之



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◇令和3年度当初予算における重点的な取組について

第六次甲府市総合計画の更なる推進を図るため、「いきいきと輝く人を育むまちをつくる」では、緑が丘スポーツ公園の再整備と、災害発生時に地域の避難所となる小・中学校の施設整備に

よる防災・減災、国土強靱化の推進や、子ども屋内運動遊び場の開設に加え、日本女性会議2021 in 甲府（用語解説①参照）の開催に取り組み、「魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる」では、飲食店等の経営状態の回復に資する経済対策や中心市街地の活性化に努めるほか、甲府城南側エリアの整備を進め、「安全で安心して健やかに暮らせるまちをつくる」では、妊婦の健康診査費用の助成拡充等の母と子の健康づくりを推進し、「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる」では、遊亀公園の再整備や、都市計画道路等の整備を進めるとともに、ワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス感染症への対策の迅速かつきめ細かな対応に努めながら、ウィズ・コロナ、アフター・コロナの状況を見据える中で、市民福祉の増進と地域の活力向上に資する事業を着実に推進し、「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」の実現に向け全力を傾注していくとの答弁がありました。

用語解説①

「日本女性会議」とは男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進やネットワーク化を図ることを目的として開催する国内最大級の会議です。

◇コロナ禍における第六次甲府市総合計画及び令和3年度予算編成の基本方針について

第六次甲府市総合計画における基本

構想の理念として掲げた、本市の財産ともいえるべき「人」「まち」「自然」の素晴らしさがより一層生かされ、高められながら共生し、明るい未来を創造していく都市を目指すという強い思いは、現時点で変えるべきではないと考える一方、基本構想の実現に向け実施計画を効率的・効果的に展開していくためには、コロナ禍をはじめとする社会情勢の変化を踏まえ、柔軟に修正・転換させていくべきものであることから、令和3年度当初予算については、コロナ禍の影響による社会の構造変容や人々の意識、行動の変化等を的確に捉える中で、ウィズ・コロナの視点を踏まえた感染対策の更なる徹底と、アフター・コロナを見据えた予算編成を行ったとの答弁がありました。

これに対し、第六次甲府市総合計画に掲げた理念に基づき、変化を的確に捉えながら柔軟に施策展開を図るよう求める意見がありました。

◇令和3年度の市税収入及び納税相談について

市税収入については、コロナ禍の長期化の影響を強く受け、個人市民税では個人所得の減少等、法人市民税では企業業績の悪化等により大きく減収することを見込むとともに、固定資産税では評価替えの影響や中小事業者に対する軽減措置等を勘案し減収を見込む中、コロナ禍による軽減措置に対しては全額国費補填される新型コロナウイルス感染症対策特別交付金を計上したところであり、納税相談については、より一層、納税者の置かれた状況や心情に配慮し、納税者に寄り添い柔軟か

つ適切に対応するとともに、今後、課税客体の適正な把握と収納率向上に努める中で、コロナ禍への対応やこふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT推進のため、歳入の根幹をなす市税の確保を図っていくとの答弁がありました。

これに対し、市税を取り巻く環境は大変厳しい状況にあるが、引き続き相談者へ丁寧に対応するとともに、市税収入の確保に一層努めていくよう求める意見がありました。

◇コロナ禍を踏まえた令和3年度予算への影響について

コロナ禍における国の考え方や社会情勢の変化、人々の行動変容等を的確に捉え、歩みを止めることなく市民福祉の増進と持続可能な財政運営を行うことが重要であることから、令和3年度においては、まちの元気づくりにつなげる「交流」や「賑わい」などは、地域活力の向上や経済的效果といった複合的成果が実現できるよう、甲府市観光振興基本計画に基づく観光事業や、日本女性会議をはじめとする全国規模のイベントの開催など、人々の「交流」を促し、「賑わい」を創出し、地域経済の「活性化」に資する取組を着実に推進して都市像の実現につなげるとともに、市民の笑顔とまちの元気があふれるまちづくりに努めていくとの答弁がありました。

◇市民生活や地域経済の認識について

新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民の日常生活はもとより、人やモノの移動減少を背景に経済活動に甚大な影響を及ぼしており、更に一般の感染

令和3年度予算特別

症再拡大により、引き続き消費者マインドは弱い動きを示すとともに、企業の景況感の先行きは下降超に転じる見通しとなっていることから、市民の不安を払拭することを最優先に考え、ワクチン接種をはじめとする感染拡大の防止に資する対策を着実に実施するとともに、引き続き市民生活への影響の抑制に必要な支援や、新しい生活様式に対応した経済対策を適切に行い、市民生活及び地域経済を支えていくとの答弁がありました。

◇市民生活の現状認識について

国においては、来年度中に経済の水準がコロナ禍以前の水準に回復するとの見通しを示しているものの、新型コロナウイルス感染症は依然として市民生活に大きな影響を及ぼしていると捉えていることから、感染拡大収束の鍵となるワクチン接種が万全の体制で実施できるよう、積極的に準備を進めるとともに、今後も感染症に伴う影響を的確に捉え、感染拡大防止と地域経済回復に資する対策を講じ、市民の健康で安全な暮らしづくりに努めていくとの答弁がありました。

これに対し、市民の不安解消に万全を期すとともに、コロナ禍の影響により生活に困窮した方々へ、引き続き丁寧な対応に努めるよう求める意見がありました。

◆条例

甲府市介護保険条例の一部を改正する条例制定については、保険料に係る市民負担を軽減すべきであることから反対であるとの意見がありました。

採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆一般会計

○歳入について

自主財源の確保についてただしたのに対し、ネーミングライツや低未利用資産を活用するとともに、ふるさと甲府応援寄附金については組織体制を強化し一層の確保を目指していくとの答弁がありました。

これに対し、様々な手法により安定した自主財源が確保できるよう求める意見がありました。

○総務費について

連携推進事業についてただしたのに対し、県自治体実務者会議での協議を踏まえ、連携中枢都市圏構想を視野に入れた具体的な協議を進めていくとの答弁がありました。

これに対し、中核市として本市が中心となって積極的に進めていくよう求める意見がありました。

○民生費について

子ども屋内運動遊び場についてただしたのに対し、様々な媒体を活用したプロモーションをはじめ、ブレイクリーダーとなる職員の研修を実施するなど、4月下旬のオープンに向け、準備に万全を期していくとの答弁がありました。

これに対し、子どもの豊かな成長につながるため、積極的にPRを行い、より多くの方々を利用されるよう求める意見がありました。

○消防費について

地域防災力の強化についてただしたのに対し、引き続き各種防災資機材や

備蓄食糧等の整備に努めるとともに、防災士や防災リーダーの育成に加え、新たに地域の水害マップ・わたしの避難行動計画(マイ・タイムライン)(用語解説②参照)を周知し、市民の防災意識の高揚を図っていくとの答弁がありました。

用語解説②

「マイ・タイムライン」とは台風や大雨などのいざという時の行動について、一人一人がいつ、何をするかをあらかじめ時系列で整理しておく、自分自身の避難計画です。

○教育費について

GIGAスクール構想の推進についてただしたのに対し、令和3年10月からの本格運用に向け、教員の操作研修をはじめ、活用ガイドや児童・生徒向けの操作マニュアルの作成等準備を進めているとの答弁がありました。

これに対し、研修等を重ねながら円滑な運用、また児童・生徒の学びを保障できるよう取り組んでいくことを求める意見がありました。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

特定健診についてただしたのに対し、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ受診環境の整備を図るとともに、自治会連合会との連携により周知を行うとの答弁がありました。

引き続き受診率向上に向けた取組を求める意見がありました。

○介護保険事業特別会計

コロナ禍におけるいきいきサロンについてただしたのに対し、高齢者の生きがいづくりや健康増進に寄与している場であることから、地区を越えた開催等についても検討していくとの答弁がありました。

これに対し、継続的に事業が運営できるよう、地域の実情を考慮した支援を求める意見がありました。

◆企業会計

○病院事業会計

国の新たな病床機能の再編支援による病床削減の方向性についてただしたのに対し、急性期病棟、回復期病棟、感染症病床を持ち、地域の皆様に必要な医療を安定的に供給できていることから、病床維持に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、コロナ禍において病院経営は厳しい状況にあるが、病床削減については適時・適切に判断すべきとの意見がありました。

○下水道事業会計

未接続解消に向けた取組についてただしたのに対し、積極的に啓発活動を行う中で、新たに供用開始した区域へは早期の接続を働きかけるとともに、未接続の世帯へは継続的に指導していくとの答弁がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決するものと決しました。

	議案番号	件名等	議決月日	結 果	政友 クラブ	創 政 こうふ	公明党	こうふ 未 来	日 本 共産党	こうふ クラブ
その他	議案第30号	指定管理者の指定について(甲府市創作の森おびな)	3月11日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第31号	工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第32号	包括外部監査契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第35号	教育委員会委員の任命について	//	同意	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	債権の放棄について	//	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	訴えの提起について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第43号	監査委員の選任について	3月23日	同意	○	○	○	○	○	○
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	3月11日	諮問の とおり 決定	○	○	○	○	○	○
議員提出	甲議第1号	甲府市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	3月23日	可決	○	○	○	○	○	○
	甲議第2号	甲府市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	甲議第3号	加齢性難聴者に対する適切な支援体制の構築と補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○
選挙	甲選第1号	日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	3月11日	当選	○	○	○	○	○	○
	甲選第2号	柿坂外四山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○

※こうふクラブの山田 厚議員は、3月23日の採決について棄権

○賛成 ×反対

《甲府市議会会派》

政友クラブ ○池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤 堀とめほ
岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩
末木咲子 深沢健吾 鮫田光一
創政こうふ ○清水 仁 金丸三郎 輿石 修 山中和男
天野 一 小沢宏至 望月大輔 寺田義彦
公 明 党 ○中村明彦 兵道顕司 植田年美 長沢達也
こうふ未来 ○廣瀬集一 神山玄太 藤原伸一郎 川崎 靖
日本共産党 ○清水英知 木内直子
こうふクラブ ○山田 厚 山田弘之 ◎は会派代表者

◎人事案件については、次のとおり同意、諮問のとおり決定
されました。

- ◆教育委員会委員の任命について 岡田真姫
- ◆固定資産評価審査委員会委員の選任について 深澤 勲
- ◆監査委員の選任について 相良治彦
- ◆人権擁護委員候補者の推薦について 塚脇亮一

◆日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙当選者
渡邊修二 田中秀人 小林 永(上九一色地区のみなさま)
田中良彦 長塚 晃 鮫田光一 小林善郎
(中道地区のみなさま)

◆柿坂外四山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙当選者
望月哲彰 若月 弑 若月 萬 小林正直
(羽黒地区のみなさま)

(敬称略)

令和3年3月定例会 請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	第2-11号	「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書」提出の請願	民生文教	取り下げ (承認)
	第1-3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	継続審査
	第1-4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第1-5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第1-6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//
	第2-2号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定等を国に求める請願	総 務	//
	第3-1号	「75歳以上の医療費窓口負担2割化撤回を求める意見書」提出に関する請願	民生文教	//
	第3-2号	75歳以上患者負担2割化の徹底審議を求める請願	//	//
	第3-3号	コロナ感染症から医療-公衆衛生体制の強化を求める請願	//	//
	第3-4号	少人数教育の早期推進に関する請願	//	//
	第3-5号	GIGAスクール構想に対応する子どもの健康管理などの請願	//	//

令和3年3月定例会 審議結果

	議案番号	件名等	議決月日	結果	政友 クラブ	創政 こうふ	公明党	こうふ 未来	日本 共産党	こうふ クラブ
令和3年度予算	議案第1号	令和3年度甲府市一般会計予算	3月23日	可決	○	○	○	○	×	○
	議案第2号	令和3年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	令和3年度甲府市交通災害共済事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	令和3年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第5号	令和3年度甲府市介護保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第6号	令和3年度甲府市農業集落排水事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	令和3年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第8号	令和3年度甲府市浄化槽事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	令和3年度甲府市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	令和3年度甲府市地方卸売市場事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	令和3年度甲府市病院事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	令和3年度甲府市下水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	令和3年度甲府市水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第14号	令和3年度甲府市簡易水道等事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
令和2年度補正予算	議案第15号	専決処分について(令和2年度甲府市一般会計補正予算(第14号))	3月11日	承認	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第15号)	//	可決	○	○	○	○	×	○
	議案第17号	令和2年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	令和2年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第19号	令和2年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第6号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	令和2年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第16号)	3月23日	//	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計補正予算(第4号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第7号)	//	//	○	○	○	○	○	○	
議案第42号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第17号)	//	//	○	○	○	○	○	○	
条例の制定・一部改正	議案第23号	甲府市附属機関設置条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	甲府市保健所関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	甲府市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	甲府市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第27号	甲府市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第29号	甲府市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第33号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	3月11日	//	○	○	○	○	○	○	

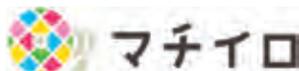
議会日誌

1月13日(水)	議会基本条例特別委員会	3月3日(水)	本会議(質疑及び市政一般質問)
1月18日(月)	議会制度調査研究会	3月4日(木)	議会運営委員会、本会議(質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託、予算特別委員会設置)、予算特別委員会
1月19日(火)	正副委員長会議	3月5日(金)	
1月20日(水)	議会基本条例特別委員会、まちづくり調査研究会	3月8日(月)	常任委員会(総務・民生文教)
1月22日(金)	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	3月9日(火)	常任委員会(経済建設・環境水道)
1月25日(月)	議会基本条例特別委員会	3月11日(木)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、採決)、会派代表者会議
1月26日(火)	リニア・公共交通調査研究会	3月12日(金)	予算特別委員会
1月27日(水)	新型コロナウイルス感染症対策特別委員会	3月15日(月)	民生文教委員会
1月29日(金)	環境水道委員会視察	3月16日(火)	
2月1日(月)	会派代表者会議、議会制度調査研究会	3月17日(水)	民生文教委員会、議会運営委員会、本会議(予算特別委員長報告、討論、採決、提案理由の説明、各常任委員会付託)、総務・民生文教・経済建設・環境水道委員会、本会議(各常任委員長報告、採決)、3月定例会閉会、広報委員会
2月4日(木)	議会基本条例特別委員会	3月18日(木)	
2月5日(金)	広報委員会	3月19日(金)	正副委員長会議
2月8日(月)	議会運営委員会	3月23日(火)	
2月12日(金)	議会基本条例特別委員会	4月5日(月)	広報委員会
2月15日(月)	議会制度調査研究会	4月7日(水)	
2月16日(火)	正副委員長会議		
2月17日(水)	全員協議会		
2月22日(月)	議会運営委員会、会派代表者会議		
2月24日(水)	民生文教委員会		
2月26日(金)	3月定例会開会、本会議(提案理由の説明)、 広報委員会		

6月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
6/7	8	9	10 本会議 (開会)	11 休会	12	13
14 休会	15	16	17	18 常任委員会	19	20
21 常任委員会	22 休会	23 本会議 (閉会)	24	25	26	27

本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。



無料アプリ「マチイロ」を利用して、スマートフォンなどで、いつでも甲府市議会だよりがお読みいただけます。

※通信料は利用者負担となります。
※表示される広告の内容については、一切責任を負いません。

編集後記

今回の3月定例会では、令和3年度の当初予算を審査する予算特別委員会を設置し、コロナ禍における第3波の影響と第4波も想定し、市民のみなさまの命と生活を守るために慎重な審議を行いました。4月より、ワクチン接種も始まりましたが、コロナ終息への追い風となるよう心より願うところです。

これからも、市民のみなさまに市政や議会の情報をわかりやすく読みやすい内容で提供していきたいと思っておりますので、ご意見などをぜひお寄せください。
広報委員 山田弘之

甲府市議会広報委員会

委員長：兵道顕司 副委員長：山中和男 委員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール
URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>
Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp

